

心のこもったオシャレなケアグッズで患者さんをサポート

ボランティア支援室には、患者さんに使っていただく手作りの小物やケアグッズが、さまざま寄せられています。グループでの活動では、毎年700枚近くのタオル帽子を寄贈される千葉市生涯ボランティアの会「タオル帽子」と、写真右上のようなタオル&布帽子、点滴パックカバー、尿バッグカバーなど、新しいケアグッズの作成にも力を注いでくださっている「金平糖」さん。個人では、とてもオシャレな布帽子や猫の人形作成のTさん（写真右中）、季節の行事をかわいい壁飾りにして届けてくださるTさん（写真右下）、乳房全摘の患者さんに手編みの胸パッドで応援するKさん（写真左下）や布帽子のYさん、可愛い紙の指人形のIさんなど。グッズは1階のふれあい広場に随時展示配布しています。

患者さんからはグッズボランティアさんへ、お礼のメッセージが届いていますので、ここでご紹介します。「入院中に手作りの帽子とマスク入れをいただきました。夏らしい水色に花柄の可愛い帽子です。早速被ってみたら丁度よく、手縫いでビックリしました。フクロウの柄のように私にも福が来てくれることを待って治療を頑張ります。ボランティアの皆さんに心から感謝します」「今回とてもかわいい胸パッドを頂きまして、ありがとうございます。とても丁寧に、色合いも素敵。気持がほっこりしました」

「通院中です。来院の時はケアグッズコーナーに立ち寄らせて頂いています。楽しみにしていて、病院に来るのも苦になりません。

今回はキャップを頂きました。これからの季節にピッタリですね。嬉しいです」

ボランティアさんの願いと、患者さんの思いが、グッズを通してつながっています。

